

## 「ひろしま都心活性化プラン（素案）」の県民・市民意見募集の結果について

### 1 募集期間

平成 29 年 2 月 10 日（金）から平成 29 年 3 月 1 日（水）まで

### 2 募集方法

- (1) 広島県ホームページ及び広島市ホームページへ募集記事を掲載
- (2) 広島市広報紙「ひろしま市民と市政」へ募集記事を掲載
- (3) 広島県地域政策局都市圏魅力づくり推進課，広島県行政情報コーナー，広島県各総務事務所（支所）総務課，広島市都市整備局都市機能調整部都市機能調整担当，広島市公文書館及び広島市各区役所区政調整課に閲覧用資料を設置
- (4) 広島県県政記者クラブ及び広島市市政記者クラブへ情報提供

### 3 募集結果

- (1) 応募数 10 人（県受付分：5 人，市受付分：6 人 ※重複 1 人を含む。）  
（応募方法：ホームページ 3 人，郵送 3 人，電子メール 4 人）
- (2) 意見件数 40 件
- (3) 意見の内訳

内 容	件数
ア プラン全般に関すること	9 件
イ 都心の将来像と目指す姿に関すること	7 件
ウ 基本方針と施策の方向性に関すること	1 件
エ 具体的な施策に関すること	23 件
計	40 件

### 4 意見への対応

区 分	件数
(1) 意見の趣旨によりプラン（素案）を修正するもの	—
(2) 意見の趣旨が既にプラン（素案）に盛り込まれているなど，プランの修正を行わないもの又は今後の取組に当たって参考とするもの	40 件

## 5 意見の概要と意見に対する考え方

(1) 意見の趣旨によりプラン（素案）を修正するもの  
（該当なし）

(2) 意見の趣旨が既にプラン（素案）に盛り込まれているなど、プランの修正を行わないもの  
又は今後の取組に当たって参考とするもの

### ア プラン全般に関すること（9件）

意見の概要	考え方
① 現段階でまとめられていることは、次に進むために意味のある素晴らしい重要なことだと思う。	本プランについては、都心におけるこれまでのまちづくりの歩み、現在の都心の特性を整理した上で、広島らしさを感じられることに意を用いて取りまとめています。
② プラン自体の魅力や独創性をあまり感じない。これまでを引き継ぎながらも、これからの広島の未来像を見据えた、魅力的で強かつ非常に独創的なもので各要素を貫くべきだと思う。	まちづくりに当たっては、これまでのまちづくりの歩みに、市民の思いや広島の大きな出来事などを何層にも積み重ね、それらを総観しながら進めていくことが重要であると考えています。 平成27年11月に開催した「都心のまちづくり“ひろしまワールドカフェ”」における市民の意見等から絞り込んだ「水と緑が豊かなまち」、「コンパクトなまち」、「国際的な知名度」は、まさに広島らしさを具現しているものであり、これらを更に生かしていくことにより、着実な都心づくりを進めるよう考えています。それと同時に、都心が市域を越えた地域全体に活力とにぎわいを生み出す中心的な役割を担うための取組を示すことで、中枢都市広島の独創性を提示しているところで
③ 大胆でもいいから、現在の課題を解決するためのワクワクするようなビジョンを描いてほしい。現状の延長線上のプラン、総論賛成になるような言葉遊びの素案では、課題が固定化されるだけで新しい都市像が見えない。	まちづくりに当たっては、これまでのまちづくりの歩みに、市民の思いや広島の大きな出来事などを何層にも積み重ね、それらを総観しながら進めていくことが重要であると考えています。 こうした考えの下、オバマ大統領（当時）の歴史的な訪問により、原爆死没者慰霊碑から原爆ドームを貫く南北の軸線を生かした景観は、恒久平和を祈念する広島市民の思いとともに、未来永劫大切にすることが必要であると改めて認識し、本プランでは、原爆ドームの望む良好な眺望景観の形成に取り組むこととしています。
④ オバマ大統領の広島訪問など、この地で起きた物語をまちづくりとともに発展させるべきである。	まちづくりに当たっては、これまでのまちづくりの歩みに、市民の思いや広島の大きな出来事などを何層にも積み重ね、それらを総観しながら進めていくことが重要であると考えています。 こうした考えの下、オバマ大統領（当時）の歴史的な訪問により、原爆死没者慰霊碑から原爆ドームを貫く南北の軸線を生かした景観は、恒久平和を祈念する広島市民の思いとともに、未来永劫大切にすることが必要であると改めて認識し、本プランでは、原爆ドームの望む良好な眺望景観の形成に取り組むこととしています。

意見の概要	考え方
⑤ 市内中心部において、市民の意見を反映できる市民も入った新しい形の運営組織を作ってほしい。	本プランの素案のとりまとめに当たっては、経済界や有識者等で構成する懇談会において意見をいただくとともに、「都心のまちづくり“ひろしまワールドカフェ”」やまちづくり交流サロン「都心のまちづくりをみんなで考えよう！」に市民も参加していただき、幅広く意見をいただきました。
⑥ プランに示したゾーン、エリアごとに地元関係者及び行政等が中心になってエリアマネジメント組織を立ち上げ、このプランを踏まえたまちづくりのガイドライン、マニュアルを策定し、プランの実現性を担保していくことが重要である。	本プランでは、「市民、企業、行政などの連携・協働によるまちづくり」を施策の方向性の一つに掲げており、市民や企業等のまちづくり活動の支援、エリアマネジメントの促進等に取り組むことにしています。こうした取組により、引き続き、市民、企業、行政の連携・協働を図り、都心の活性化を進めていきます。
⑦ 市民の力をもっと活かす都心となしてほしい。	
⑧ 素案 P3 に、広島市の都心について「中四国地方の中核」という表記があるが、四国地方や岡山・鳥取から見た場合、違和感があるのではないか。「中国地方の中核」とすべきではないか。	広島市は、広島広域都市圏ひいては中四国地方の発展をけん引していく中核都市として、「世界に誇れる『まち』広島」を実現するとともに、「200 万人広島都市圏構想」の実現に向けて取り組んでいます。広島市の都心についても、中四国地方の中核として、市域を越えた地域全体に活力とにぎわいを生み出す中心的な役割を担っていくように考えています。
⑨ 素案 P20 等に「広島陸の玄関」という表記があるが、広島市、広島県、広島広域都市圏のいずれの玄関なのか明確ではないので、実質的に考えて「広島広域都市圏の玄関」とした方がよいのではないか。	広島市、広島県、広島広域都市圏それぞれの陸の玄関という趣旨で、「広島陸の玄関」と表現しています。

#### イ 将来像と目指す姿に関すること（7件）

意見の概要	考え方
① 素案 P19 に記載された「目指す姿」は、一般的にまちづくりで普通にやるべきことであり、「広島市の都心が目指す」というほどのものではないので、もう一度検討をお願いします。	本プランでは、「水と緑が豊かなまち」、「コンパクトなまち」、「国際的な知名度」という広島市の都心の特徴を生かして都心の将来像、目指す姿を描き、広島ならではの魅力ある都心づくりを目指すことにしています。
② 広島を東京化するのではなく、ゆとりと潤いのあるまちづくりをしてほしい。ぎすぎすしたまちづくりではなく、少し遊び心があり、人に優しいまちづくりをしてほしい。	広島市の都心の特徴は、これまで進めてきたまちづくりの成果であり、これを生かしながら更なる発展を目指すことが、これからの広島市の都心づくりにふさわしいと考えています。

意見の概要	考え方
<p>③ 丹下健三氏の軸線について、尊重はしても囚われすぎない方がよい。素案P22に掲載している図について、北は中央公園あたり、南は平和大通りから少し南あたりから点線表記にしてほしい。また、「東西の軸」については、唐突で賛同できない。平和の軸線は1本の方がよいと思う。</p>	<p>平和大通りは、平和記念公園と商業地、さらには比治山公園を結ぶ都心の東西軸であるとともに、広島を特徴付けるシンボルロードであり、平和を願う世界中の人々の交流や都心の活性化、回遊性の向上に当たり、非常に重要な空間であると考えています。</p> <p>こうした考えの下、本プランでは、にぎわいと交流を都心全体に広げていくため、丹下健三氏の「南北の軸」と平和大通りによる「東西の軸」を「平和の軸」として、P22の図を描いたものです。</p>
<p>④ 広島は、世界にとっての平和推進の役割を強く担うべき段階に来ていると思う。より積極的で前のめりな存在であることを目指してほしい。</p>	<p>本プランでは、平和記念公園、平和大通り、比治山公園などの地域資源があるゾーンを「平和への思いを共有するゾーン」として位置付け、より多くの人々が被爆の実相に触れるとともに、復興した都市の力強さを実感し、平和への思いを共有できるよう、世界中の人々を迎える魅力的な環境づくりを推進することとしています。</p>
<p>⑤ 万遍なくではなく、もっと強弱があってもよいと思う。市内の中心地に非常に強い拠点を設け、そこを核として、周辺との連携を考えた方がよいと思う。</p>	<p>まちづくりに当たっては、個々の地点を考えるのではなく、これまで進めてきたまちづくりの歩みに、市民の思いや広島の大きな出来事などを何層にも積み重ね、それらを総観しながら進めていくことが重要であると考えています。</p> <p>こうした考えの下、本プランでは、これまでのまちづくりの歩みや都心の現状を踏まえ、地域の特性をテーマとして都心を6つのゾーンに区分し、各ゾーンの目指す将来イメージを掲げています。この将来イメージを踏まえ、地域の特性に応じて高次都市機能の充実・強化や新たなにぎわいの創出に取り組み、広島ならではの魅力をより一層高めるとともに、「人が中心となる回遊ネットワーク」や「おもてなしを創出する水・花・緑のネットワーク」の形成により、各ゾーンをつなぎ、にぎわいと交流を都心全体に広げていくことで、都心の活性化を実現していくものと考えています。</p>

意見の概要	考え方
<p>⑥ 楕円形の都心を回遊空間として捉えると、「文化の道」、「平和の道」、「商いの道」を、それぞれ歴史・文化・スポーツ交流ゾーン、平和への思いを共有するゾーン、中四国地方最大の業務・商業ゾーンの回遊軸と、歩行者ネットワークを有機的に形成していく必要がある。</p>	<p>本プランでは、にぎわいと交流を都心全体に広げるため、「都心回廊」という考え方の下、「人が中心となる回遊ネットワーク」等の形成を目指すこととしています。</p> <p>いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>
<p>⑦ 都心における「西国街道」は、京橋通りよりも本通、金座街、仏だん通り等がメインであり、「歴史・文化・スポーツゾーン」の特徴というよりも、「中国地方最大の業務・商業ゾーン」の中に、現代の「商いの道」として位置付けるべきである。</p>	<p>西国街道は、かつての城下町が目抜き通りであり、都心における重要な歴史資源の一つと考えています。現在、「西国街道を軸としたにぎわいづくり計画」を検討しており、この計画は、西国街道を楕円形の都心における東西の核である「広島駅周辺地区」と「紙屋町・八丁堀地区」をつなぐ「新たなにぎわいの軸」として復活させることにより、両地区のにぎわいを都心全体に広げていくことを目的としています。</p> <p>いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>

ウ 基本方針と施策の方向性に関すること（1件）

意見の概要	考え方
<p>① 素案 P31 に掲載している「人に優しい道路のイメージ」のイラストでは、車道が蛇行した形になっている。車の速度を抑えるのが目的だとしても、車道を蛇行させると歩道の幅が広くなったり狭くなったりして歩行者も歩きにくくなるので車道は直線にした方がよい。</p>	<p>イラストは、車道を狭めたり蛇行させたりすることで、心理的・物理的に自動車を通行しにくくして、人優先を意識づけるための歩車共存道路をイメージしています。</p> <p>いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>

エ 具体的な施策に関すること（23件）

意見の概要	考え方
<p>① 都心部における土地の高度活用を推進するため、例えば容積率の大幅な見直しなどの規制緩和を大胆に展開していかなければ、都市圏間競争を勝ち抜けないのではないか。</p>	<p>本プランでは、「都心にふさわしく広島の顔となる空間づくり」を基本方針の一つに掲げ、再開発を促進するための支援や都心の地区計画の見直し等に取り組むことにしています。</p>

意見の概要	考え方
<p>② 土地需要が減退する中、高齢化した土地オーナーの相続の発生も急増し、相続人が地元にはいないケースも増えて、土地や親の家はお荷物にしかならないという、30年前には考えられない状況を、将来の30年の計画にどう反映させていくのか。土地利用をもっと流動化・効率化・活性化させるべきである。</p>	<p>本プランでは、「都心空間のリニューアルによる高次都市機能の充実・強化」を施策の方向性の一つに掲げ、再開発を促進するための支援等に取り組むこととしています。</p>
<p>③ 都心に増えている分譲マンションと、マンションの高層化は、都心居住のメリットよりも、セキュリティやプライバシーを重視したエントランス、駐車場出入口の歩道の分断が、都市の賑わいを削ぎ、閉鎖的な空間を点在させる結果になっている。少なくとも低層階は店舗やオフィスとして、雇用の場や商業活動の場を提供し、地域のにぎわい創出と経済的利益を得られる土地活用に誘導しなければ、都心の賑わいは分断される。</p>	<p>本プランでは、「都心空間の有効活用による新たなにぎわいの創出」を施策の方向性の一つに掲げ、多くの人が歩く通りにある建築物の低層階へのにぎわい創出に寄与する店舗を誘導し、にぎわいの連続性の確保に取り組むこととしています。</p>
<p>④ 郊外型のショッピング施設が多数存在する中、都心に同じショッピング機能しなければ集客できない。福岡における博多座、キャナルシティ博多、屋台のように、年配者、若者、家族連れ、外国人や観光客向けに、毎日集客できるソフトウェアが必要である。</p>	<p>本プランでは、「観光都市広島に向けた、地域資源と都市空間の魅力向上」を施策の方向性の一つに掲げ、歴史・文化・スポーツ等の地域資源を生かしたまちの活力向上や商業集積地としての魅力向上に取り組むことにしています。</p>
<p>⑤ 「歩行者や自転車を優先する交通環境の整備」について、紙屋町交差点に横断歩道を復活させることを検討してほしい。横断歩道の廃止によって紙屋町と八丁堀の間を移動しにくくなり、二つの繁華街が競争することによって繁栄してきた相乗効果が発揮されなくなり、にぎわい低下をもたらしている。横断歩道が復活すれば、これまでの自動車優先の在り方を改め、広島が歩行者を重視する街に変わったことを市民や訪れる人に印象付けることができると思う。</p>	<p>本プランでは、「歩行者や自転車を優先する交通環境の整備」を施策の方向性の一つに掲げ、安全で快適な歩行環境の整備などにより、歩いて楽しく回遊できる環境づくりを進め、歩行者ネットワーク・自転車ネットワークの整備、公共交通ネットワークの充実・強化などにより、車依存社会から脱却し、人が中心となる回遊ネットワークを形成することとしています。</p> <p>なお、紙屋町交差点の横断歩道は、錯綜する人と車を分離することにより、歩行者の交通安全の確保と交通混雑の緩和を図るため、紙屋町地下歩道の設置に伴い廃止したものです。</p>

意見の概要	考え方
<p>⑥ 地域の活力を維持するため、少子化と若者の都市への流出への対応が必要である。</p> <p>「仕事」と「子育て」が両立しにくく、子育てが妻一人の負担になっている状況が「孤独感」を生み、少子化の隠れた要因である。</p> <p>通勤も含めた生活のコストが安く、便利で自然も数多く残っている地方都市ならではの魅力を高めることで、移住・定住者が増えるのではないか。</p>	<p>本プランでは、「多様な世代が交流できる「住みよい」都心づくり」を施策の方向性の一つに掲げ、子どもの遊び場の充実などによる、多様な世代が安心して暮らせる環境づくり、居住と生活サービスの近接した居住環境の構築等に取り組むこととしています。</p>
<p>⑦ 待機児童問題を解決できれば都心は活性化。会社に、児童を預かってもらえるようにできれば、働く女性にとっても、会社にとっても利益になる。</p>	<p>本プランでは、「多様な世代が交流できる「住みよい」都心づくり」を施策の方向性の一つに掲げ、事業所内保育施設の設置の促進に取り組むことにしています。</p>
<p>⑧ 郊外にある商業施設はすでに過剰な状況であり、都心の活性化を考えるなら、郊外での新たな大型商業施設の出店や既存の店舗の増床を制限すべきではないか。</p>	<p>いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>
<p>⑨ 土地の高度利用の観点から、広島県庁舎建替えの検討について言及すべきではないか。</p>	
<p>⑩ オフィスやマンション等の建設投資からテナント誘致、産業育成や公共交通体系に至るまで、長期的な都市経営戦略を持って都心の土地利用をコントロールすることが必要だと思う。</p>	
<p>⑪ 現状では、景観や建物の用途について、行政は民間をほとんどコントロールできていない。施設立地の誘導に当たっては、自治体による土地利用に対して安心できる統計データの提供や、投資誘導のための補助金を含めたインセンティブの供与が必要である。</p>	

意見の概要	考え方
<p>⑫ 景観の形成について、電線の地中化に力を入れてほしい。屋外広告や看板などより、こちらのほうが景観を悪くしている大きな要因といえるのに、このプランでは触れられていない。日本の都市とは比較にならないほど電線の地中化が進んでいる海外からの旅行者に広島の景観がどう見えるのかということも考えるべきだと思う。</p>	<p>広島市は、安全で快適な歩行空間の形成や都市景観の向上などを目的として、無電柱化に取り組んでいます。</p> <p>本プランでは、「ユニバーサルデザインの推進」を施策の方向性の一つに掲げ、電線共同溝の整備など、歩道のバリアフリーを進めるとともに、良好な景観の形成を図ることにしています。</p> <p>いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>
<p>⑬ 景観の形成について、街路樹を重視した街づくりをすべきである。川沿いや平和大通りには緑が多いが、相生通りや中央通り、鯉城通りなどは街路樹が貧弱で本数も少ないために景観が悪くなっているように感じる。けやきなど、ある程度大きくなり、樹形のいい樹木を街路樹にすれば、かなり街の印象は違うのではないかと思う。</p>	<p>本プランでは、にぎわいと交流を都心全体に広げていくため、河岸緑地・道路などの緑化、花による演出などにより、「おもてなしを創出する水・花・緑のネットワーク」の形成を目指しています。</p> <p>いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考にさせていただきます。</p>
<p>⑭ 紙屋町周辺が寂れて暗い。ハノーバー公園・市民プールと併せて明るい雰囲気にしてほしい。</p> <p>中央公園周辺の公営住宅は整理し、民間マンションを誘致し、暗くて怖いイメージを変えたほうがよい。</p> <p>中央公園はグリーンアリーナから陸橋をかけて、サッカースタジアムを作ってほしい。</p> <p>中央公園付近の川辺を利用して、朝市が楽しめる空間を作るとよい。</p> <p>旧市民球場跡地も広場でなく、バスセンター移設等、市民の生活に有意義なものにしてほしい。</p>	<p>本プランでは、「都心空間の有効活用による新たなにぎわいの創出」を施策の方向性の一つに掲げ、中央公園をはじめとする緑の空間など、公共空間を積極的に活用して、新たなにぎわいの創出を図ることにしています。</p> <p>いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>
<p>⑮ 中央公園ファミリープールについては、プールとしての利用は夏季のみであり、施設の移転も含め土地の高度利用を図る必要があると思う。</p>	



意見の概要	考え方
<p>⑯ 活性化につなげるには、にぎわいがあることや若者が集まるまちづくりが必要であり、そのためには、今話題になっているサッカースタジアムが一番良い対策だと思う。</p> <p>サッカースタジアムを広島にも造るべきだと思う。</p>	<p>いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>
<p>⑰ 旧日本銀行広島支店は、博物館化するより、ビアホール等として活用すべきだと思う。</p>	
<p>⑱ ここ数年、外国人観光客の伸びは飛躍的だが、少しでも滞在時間を伸ばすことが必要である。そのためには、そこにしかない「特別な来訪目的」が必要である。原爆ドームや平和記念公園が現状、最も集客力のある観光資源であり、その近くの旧広島市民球場跡地等に、旧中島町の戦前の様子を再現し、商業・宿泊施設(大規模木造旅館)などが甦れば、世界中にどこにもない、特徴あるまちが出来上がるだろう。</p>	<p>本プランでは、「観光都市広島に向けた、地域資源と都市空間の魅力向上」を施策の方向性の一つに掲げ、地域資源を活用し、国内外からの来訪者に広島の歴史・文化を感じてもらおうとともに、その価値や魅力の将来世代への継承などに取り組むことにしています。</p> <p>いただいたご意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>
<p>⑲ 「歩行者や自転車を優先する交通環境の整備」について、道路に歩道を整備する場合、片側しか歩道が設置されないことが多いが、設置されない側では車が建物のすぐそばを通るようになって歩行者は歩道設置前より危険になっており、歩道がない側では店の営業も難しい。歩道を設置するなら車道の幅を削減するなどして必ず両側に設置し、車道と歩道の割合もできるだけ歩道に割り当てるべきである。</p>	<p>本プランでは、「歩行者や自転車を優先する交通環境の整備」を施策の方向性の一つに掲げ、安全で快適な歩行環境の整備などを図ることとしています。</p> <p>いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>
<p>⑳ 「楕円型の都心」を目指すのであれば、その楕円の中は自動車よりも徒歩や自転車のほうが移動に便利なゾーンにしてほしい。広島駅を起点に、白島から城北、横川駅までを繋ぐLRT新線ができれば、既存公共交通機関との結節点が生まれ、都心の回遊性が高くなる。さらに横川駅から中広通りを経て、西観音から平和大通りを経て田中町あたりで駅前大通りにアクセスできれば、都心部の環状線ができる。</p>	<p>本プランでは、にぎわいと交流を都心全体に広げていくため、歩行者ネットワーク・自転車ネットワークの整備、公共交通ネットワークの充実・強化などにより、「人が中心となる回遊ネットワーク」の形成を目指しています。</p> <p>いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>

意見の概要	考え方
<p>②① 都心部の貴重な土地をコインパーキングにせず、店舗や事務所として利用するため、(1)通勤距離を短縮できる住宅政策、(2)自動車通勤に頼らない公共交通機関の整備、(3)都心部への自動車流入を抑制するパーク&amp;ライドや次世代モビリティ等のハード・ソフトの整備、(4)再生可能エネルギーや燃料電池車など脱エンジン推進等により、自家用車の維持、移動・駐車に係る費用を削減し、市民・県民の可処分所得を増やすような政策が必要である。</p>	<p>本プランでは、「都心へアクセスしやすく、容易に移動できる交通環境の整備」、「多様な世代が交流できる「住みよい」都心づくり」を施策の方向性に掲げ、良好な居住環境の構築や公共交通ネットワークの充実等に取り組むこととしています。</p> <p>いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>
<p>②② 中央公園で実施している「もとまち自遊ひろば」については、都市部のアクセスのよさから、子どもの居場所だけでなく、高齢者の居場所や子育て世代の方の野外版オープンスペースとしてのニーズも感じている。この必要性について検討してほしい。</p>	<p>本プランでは、「多様な世代が交流できる「住みよい」都心づくり」を施策の方向性の一つに掲げ、冒険遊び場事業に取り組むことにしています。</p> <p>いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>
<p>②③ 都心部の公営住宅について、魅力的な立地で適切に管理され、入居者が絶えない住宅であれば、民間企業にとっても有望な投資対象であり「社会住宅」(低所得者向け住宅)として行政側から家賃補助が得られればリノベーション投資も行われる。基町アパートなど、貴重な都心の土地は、より市民にとって有効な活用を模索し、時代に合わせて移転・機能拡充してはどうか。</p>	<p>いただいた御意見については、今後の具体的な取組に当たっての参考とさせていただきます。</p>